

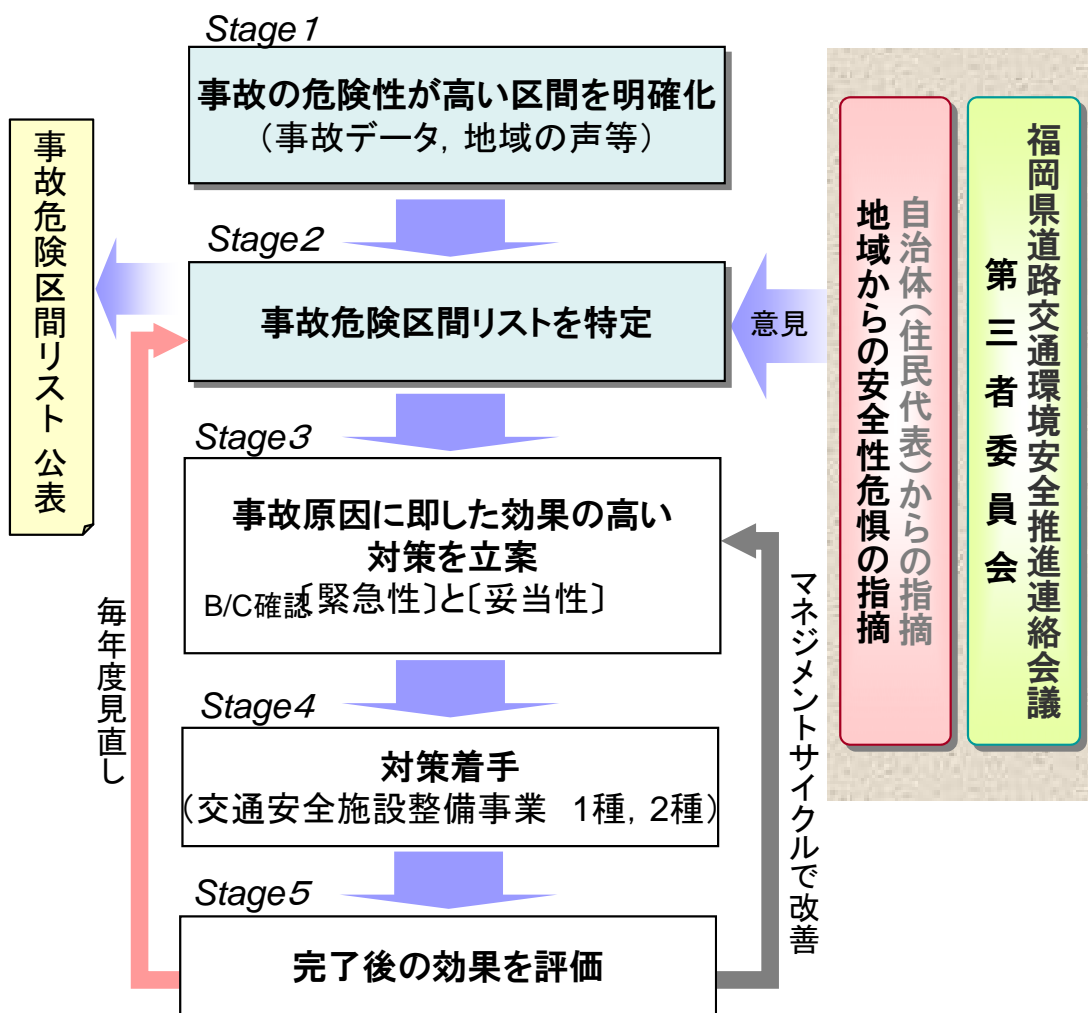
平成29年度事故危険区間リストの概要



Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

□限られた予算の中、事故対策への投資効率を最大限高めるため、本会議による意見等を踏まえ、「事故危険区間リスト」に基づく選択と集中による計画的、効率的な交通安全対策事業を実施

福岡県 事故危険区間リストに基づく交通安全対策事業の流れ



事故危険区間の抽出方法(6つの柱)

	安全	安心
必要な区間 事故対策が	<事故データ> <ul style="list-style-type: none"> ○事故が多く発生 ○被害が大きい ○事故課題が大きい 	<データ以外> <ul style="list-style-type: none"> ○住民の不安 ○ヒヤリハット ○確実な効果
	<ul style="list-style-type: none"> ○早期に対策可能 ○早期に整備効果発現 	<ul style="list-style-type: none"> ○早期に対策可能 ○早期に整備効果発現
必要な区間 歩道整備が	<道路データ> <ul style="list-style-type: none"> ○未整備である ○利用者が多い ○歩行者が事故に遭っている 	<データ以外> <ul style="list-style-type: none"> ○住民の不安 ○ヒヤリハット ○確実な効果
	<ul style="list-style-type: none"> ○早期に対策可能 ○早期に整備効果発現 	<ul style="list-style-type: none"> ○早期に対策可能 ○早期に整備効果発現
必要な区間 整備が必要な区間 自転車利用環境	<道路データ> <ul style="list-style-type: none"> ○自転車走行空間が狭い ○交通容量が不足 ○自転車事故が発生 	<データ以外> <ul style="list-style-type: none"> ○通学時の安全性 ○通勤時の安全性 ○住民の不安
	<ul style="list-style-type: none"> ○早期に対策可能 ○早期に整備効果発現 	<ul style="list-style-type: none"> ○早期に対策可能 ○早期に整備効果発現

進めるために優先的に実施すべき区間
福岡県内直轄国道において、効率的に交通安全事業を
事故危険区間リスト(ロングリスト)

■ : 効果の大きさ ■ : 整備の早さ